安全掲示デジタル化 ご提案書

安全掲示を、もっと見やすく。

建設現場の事務所・詰所に、縦型デジタルサイネージ。

紙がいっぱいの壁から…



すっきりした事務所へ



**ポスターを１台の画面にまとめて、
貼り替えの手間を減らしましょう。**

期限切れを減らす

終了日を決めて、更新を確認。

貼り忘れを防ぐ

配信後に、表示を確認。

貼り替え時間を減らす

印刷・移動・貼付の手間を軽く。

見た目もすっきり

壁の掲示を整理し、見やすく。

建設DXとは？

デジタルの力で、現場の仕事をやりやすくすることです。

※イラストは導入イメージです。実際の設置・表示方法は現場に合わせます。

01 表示できるもの

いつものポスターを、画面へ。

静止画・動画・Webページを活用し、必要な情報を表示します。

安全ポスター



今月の安全目標・注意点

脳・心臓疾患への注意



体調の異変に気づくための案内

緊急時連絡

緊急連絡先

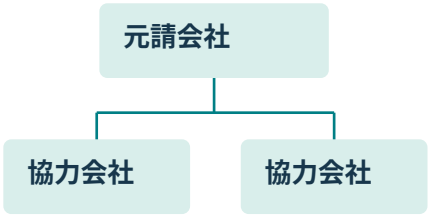
現場責任者：○○

連絡先：登録した番号

避難場所：○○広場

連絡先の変更をすぐ反映

施工体系図



会社や体制の変更に合わせて更新

熱中症予防や季節のお知らせも、必要に合わせて表示できます。

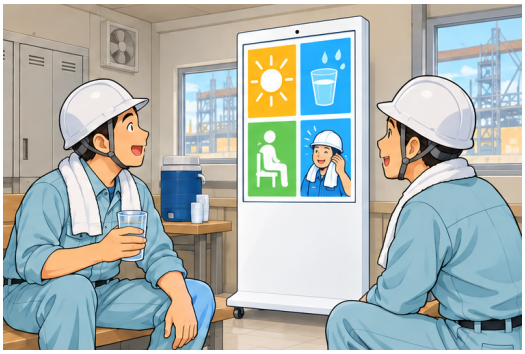
小さい文字の資料は、拡大・分割して読めるように調整します。

02 更新のしかた

「作る → 送る → 確かめる」

インターネット配信なら、離れた場所の画面も更新できます。





1 資料を用意する

静止画・動画・Webページを用意します。
現場名・更新日・終了日を確認します。

2 表示する画面へ送る

事務所・詰所など、配信先を選びます。
必要に応じて、曜日や時間を設定します。

3 実際の画面で確かめる

正しい資料か、文字は読めるかを確認。
古い資料は更新・削除します。

※配信には対応システムと通信環境が必要です。
※予約配信・自動終了の対応や設定方法は、採用システムで確認します。

03 導入で目指す変化

手間を減らして、確認しやすく。

画面に変えるだけでなく、更新のルールも一緒に決めます。

期限切れ

古いポスターが残ってしまう…

終了日を一覧にし、更新・削除を確認。

貼り忘れ

事務所には貼ったのに、詰所はまだ…

配信先と表示結果をチェック。

貼り替え時間

印刷・移動・はがす・貼る作業が大変…

資料の差し替えと表示確認が中心に。

事務所の見た目

壁の紙が増えて、見つけにくい…

情報を画面にまとめ、壁をすっきり。



目指すのは、こんな現場。

「貼り替えが楽になった」

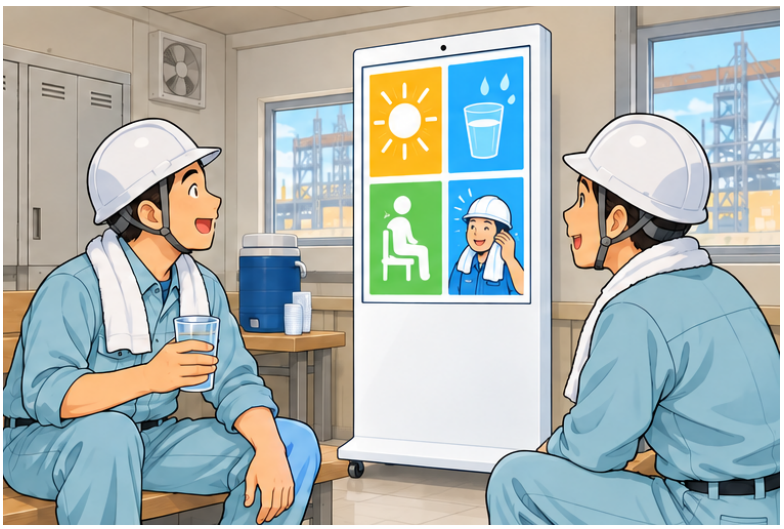
「事務所がきれいになった」

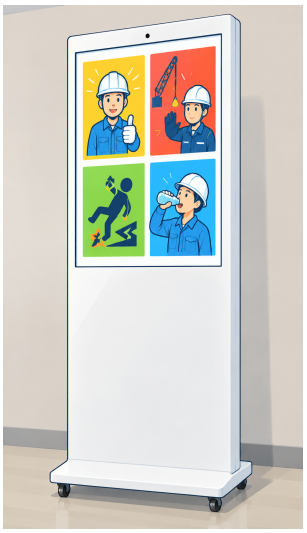
※導入効果のイメージです。

04 まずは１台から

小さく始めて、効果を確かめる。

事務所または詰所の１か所で試し、現場に合う使い方を決めます。





43インチ白筐体イメージ

1 掲示物を選ぶ — 何を画面に出すか、現場で確認。

2 設置場所を決める — 見やすさ・電源・通信・転倒対策を確認。

3 担当者を決める — 更新担当と、不在時の代行者を決定。

4 使って比べる — 更新時間・古い掲示・見やすさを確認。

運用で大切なこと

緊急連絡先は、停電時にも見られるよう紙も併用します。
施工体系図などは、必要な掲示条件を確認してから切り替えます。

縦型デジタルサイネージ「集客クン」

ご相談・お見積り 0120-911-190 ┆ https://syukyakukun.com/